

# 小学校

学年	教科等	単元名等	内容
1	学活		学級に同じ名前でも異性の子がいるので名前でも男とか女とか区別することができないこと、また、男の子にくん、女の子にさんと敬称をつけることで、二人の呼び方を決め、友達の呼び方に気をつけるよう学級で話し合った。
	道徳	おふろそうじ	ねらいは「進んで家の手伝いをして家族の役に立とうとする心情を育てる」であるが、その中で「お父さんが赤ちゃんの面倒をみているときもあるよ」「お父さんが洗濯をするときがあるよ」という発言が出た。男女関係なく家事を分担し協力してやっていくことの大切さに気付いた。
	生活	にこにこ大作戦	今、自分が行っているお手伝いは何かということから、おうちの人たちのにこにこを見つけてこよう(どんな時ににこにこ笑顔が広がるか)と広げていった。お風呂掃除、洗濯物をたたむ、食事の準備など毎日の仕事の中で自分にもできそうなことを再確認し、継続したり、新たに挑戦したりして、にこにこ大作戦を続けた。見つけたにこにこはカードで紹介し教室内に掲示して見えるようにしたことでもっと挑戦していこうという気持ちにつながった。おたよりや予定帳をとおして各家庭に伝えていくことで、おうちの方も意識的に子どもたちの活動を支え見届けてくださった。
2	学活	係決め	係決めの際、「音楽係は女の子だよ。女の子の方が鍵盤ハーモニカも歌も上手いし」という意見が挙がった。しかし、「男の子でも上手い子はいる」と反対する子もいた。結局やりたいのが女の子2人であったので女の子が音楽係になった。 授業の終わりに「係は女だから男だからコレと決まっていな。やりたい係を選べば良い。」という話をした。
	学活	自分と友だち	・事前アンケート「男の子(女の子)の良いなと思うところ」をもとにそれぞれが思っているイメージを出し合った。 ・それぞれのイメージを出し合う中でおもちゃやおかしなど男の子向けのものが多いのではないかと意見が出された。 ・おもちゃ、おかし、色など「男の子のもの、女の子のものがあるの？」に対して「だれでも使える」「その人が気に入れば良い」「その人が好きな色なら良い」という意見がでてきた。 ・はじめにもっていた「男の子は足が速い」「女の子はやさしい」などのイメージも人によってちがったりその人の興味やよさがあったりするから、自分のよさを大事にしていこうという考えに至った。
	学活	男女協力	お互いの違いを認め、友達として理解し合い、助け合おうとする心情を育てる。気の合う友達同士だけで仲間をつくるのではなく、男女を問わず誰でも互いによく理解し、信頼し、助け合えるようにする。 子どもたちの大好きなゲーム的内容を使ったことで、子どもたちは興味・関心をもって考え、友だちとの違いや互いのよさを認め合うことができ、「みんなちがってみんな良い」ということに気付くことができた。そのことをとおして他の個性を認識し、相互に尊重し合おうとする心情を育てることができた。
3	道徳		ペープサートで物語調にして「男のくせに手芸」「女のくせにサッカー」といった言い合いやランドセルの色、家事の分担などについて子どもたちに見せ、それら1つ1つの事例について考えていった。保護者参観の時だったので保護者の皆様にも一緒に考えていただいた。 ※授業案あり
	特別活動(学活)	児童集会	今月の生活のめあて「人のため家族のために働こう」(11、12月)について3年生が児童集会で寸劇を交えて具体策を発表。 発表台本は子どもが考え「重い物を声をかけてあって男女協力して運ぶ」場面やはずかしがらずに「落とし物に気付いて渡してあげる」場面と「ありがとう。嬉しいよ」と男女仲良く過ごす様子を表現、発表をとおし、より仲よく、協力し合う姿や進んでトイレの流し場などの共有場所をきれいにし合う姿が見られた。
	国語	漢字指導	子どもから「昔、漢字は男しか使えなかったって本当？」という質問があったので平安時代のことや土佐日記について教えた。現在は性別によって文字の制限などはないと伝えた。
	国語	修飾語	「わたしは、〇〇だ」という文をノートに書くときに、男の子が「ぼくで良い？」と聞いてきた。そのため、男の人でも「わたし」を使っても変ではないことを指導した。(話した)

4	帰りの会		帰りの会で「日直さんの良いところ」を発表する場を設定している。最初は、女子が日直のときは女子だけ、男子が日直のときは男子だけが良いところを発表していた。しかし、男女関係なく発表できた子をほめると、男女という意識がなくなり、今では一人一人のよさを認められるようになってきている。
	体育	思春期の心と体の変化	幼児と中学生の体の変化から男女の体の違いには命を守るための大切な役目があること、互いに力を合わせていくための違いであることを知り、相手も自分も大切にしていける、男女力を合わせて生活していくことの大切さを感じさせた。 また、その発達には個人差があり、その子のスピードで成長していくことを押さえた。
	学活		席がえて男子の数・女子の数を示す○を男子「赤」女子「青」で示したところ、子どもたちからどうして「男子が赤なんですか？(女子が青なんですか？)」という反応が。 そこで、反対に教員が「どうして男子が赤じゃダメなんですか？(女子が青じゃダメなんですか？)」赤が好きな男子もいます」と一言。
	帰りの会		帰りの歌の後、音楽系の児童が「男子がしっかり歌っていませんでした」と話したので教員が「男子がというくりはおかしいです。男の子の中にもしっかり歌っている子がいましたよ」と一言。
	体育	そだちゆく体とわたし	男女の成長の違いについて、図や絵を用いながら学んだ。男の成長も女の成長もお互いに理解していこうということ学んだ。また、成長の度合いや時期には個人差があることを知り、互いに尊重し合おうという話題に広がった。
	休み時間		クラス遊びを計画する時、男女共に楽しめるということを条件に遊びを企画・実行している。男女仲良く遊んでいる。
3.4	総合	やさしさステップアップ大作戦	ユニバーサルデザインの学習をとおして「誰もが暮らしやすいとは？」について考え合った。 ※授業案あり
	学活	自分らしさの発見「好きなことはなあに」	目標…これまでの日常生活の中で言われてきた男・女はこうあるべきだという決めつけに疑問をもたせることをとおして、ジェンダー差別が存在していることに気づき、自分の得意なことや良いところを再発見しながら、もっと自由に自分らしく生きることの大切さに気付く。 まず、会話資料を読み、男の子だから女の子だからと言われて積然としない経験を出し合い、男らしさ女らしさで生きにくい現状があることに気付いた。その上で、自分たちが「女の子だから、もっとおとなしくしろ」「男の子だから、そんなことで泣くな。」等の言葉を言われたらどう思うか、同じ経験がなかったかについて考えた。男・女だからという理由で言われるのは嫌だという考えが出された。そして、自分はどんな人なのか、自分の好きなことや得意なことを考えて、自分について見つけた。 ※授業案あり
	学活	協力して生活しよう	目標…家事は女の人が分担するものだという固定観念が、自分の中にもあることに気づき、女の人に偏りがちな家庭の仕事を分担することの大切さを考え、自分にもできないかを考えることができる。 キテレツ大百科のオープニングアニメの一場面、女の子は料理をして、男の子たちが食べている食卓の様子を見て考えた。その後、自分の家では、誰がどんな仕事をしているのかを考え、感じたことを話し合った。自分にもできそうな家庭の仕事を考えることで、家族の一員として役に立つこと、仕事を分担することの大切さに気付いた。 ※授業案あり

5	家庭科	はじめてみようソージング	男女関係なく同じ教科を学習することが当たり前だと思っていた子どもたちであったが、裁縫に関しては「女の子の方ができてあたりまえ」という意識があった。そこでボタンがとれてしまったとき、ズボンのすそがおいてしまったときと具体的な場面を想定させて、人に頼らずに自分でできるようにする必要があることを伝え、女性も外に出て働く時代、家庭のことも平等に担っていく必要があることを考えさせた。
	道徳	言葉のおくりもの 男女の協力	男女が協力し合っている主人公に冷やかしかがあり、結びつきが弱くなっていく。しかし冷やかしにとられず友情を深めようとする主人公の言動について話し合った。授業の最後に文科省の「私たちの道徳」P75により、男女が互いに意識するのは自然。たがいの良さを認めて高め合っていくよう話をした。
	家庭科	やってみよう 家庭の仕事	家庭の仕事について考え、その中で自分が得意なことや自分にできることを見つけ、自分の仕事としてとりくむようにした。
	体育		体操着に着がえるときに弟の体操着とまちがえてもってきてしまった。その学年の男の子と女の子はパンツの色が白と紺だった。しかし弟の学年は全員が紺であった。だからその子は「紺が女の子のだからいやだ」といっていたので教師が「紺が女の子の色ではない」と話した。
6	社会 家庭科		社会で日本の歴史における家族のあり方、役割分担などについて学び、現在との違いや変化について考えた。 家庭科において、家庭生活、学校生活におけるそれぞれの役割、今できること、そして将来のために学んでおくべきことなどについて話し合い実践につなげた。
	総合	夢に向かって	静岡県男女共同参画・多文化共生課の出前講座「自分らしく生きよう」 それぞれの職業には、男性向き女性向きというものはない。その人により、向いている、向いていないが決まる。(得意なこと、やる気など) 「男女が共に、同じ立場で協力し合っていくこと、参画することが大切」といった内容の授業をやっていた。
	帰りの会		教員から「男らしい女らしいって何だろう」と子どもたちに投げかけた。 子どもたちからは 男子が考える男らしさ・・・スポーツができる、ゲームが好き、泣かない 女子が考える女らしさ・・・髪の毛が長い スカートををはいている 教員から「絶対泣かないのか」の切り返しにそうではないことに気付く。そのあと、無意識に決めつけていることがあること、それはまちがっていることもあること、一人一人が大切であること、自分を大切にすること、自分は自分なのだということなどを教員から話した。
	道徳	男女の協力	雨が降っている中、傘を持たずに歩いている異性を見かけたら傘を持っている自分はどうするか。場面設定をして考えさせた。
	社会	戦後の日本	選挙権がようやく与えられたことなど差別の歴史をふりかえった。
	総合	Story of My LIFE	目標を「いろいろな職業を知り、自分の生き方を考えよう」として、まあるを利用して様々な職業を体験した。職業に男女の区別はなく、自分がやりたい仕事を体験し、自分の夢をもった。発表では劇や紙芝居等発表方法を工夫してグループで地域の方や保護者に発信した。 ※授業案あり
	社会	男らしさ 女らしさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちに男らしい職業(消防士・運転手等)、女らしい職業(CA、保育園の先生等)を聞く。</li> <li>子どもたちが「女らしいな」と思う項目を、下から3つ考える。</li> <li>子どもたちが「男らしいな」と思う項目を、同じように下から3つ考える。</li> </ul> <p>顔が素敵・性格が優しい・運動ができる・よく笑う・静かで落ち着いている・おもしろい言動をする・髪型が素敵・発言力がある・活発である・リーダーシップがある・感受性が強い・面倒見が良い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ここで、男女の項目の違いを確認。</li> <li>男、女というよりも、大事なのは「自分らしさ」。</li> </ul>
社会		日本が近代化に向かう中で国会を開設し選挙が行われたが、女性には選挙権が与えられなかった。その後、社会に参加する権利を求める様々な運動として、女性の地位向上を目指す運動や普通選挙法を要求する運動が行われ、人々が何を求めていたのかを調べる授業。	

5・6	家庭科	わたしの家族の生活	1日の生活をふりかえる中で、家族にしてもらっていることが多いことに気付いていき、家庭生活、家族の大切さに気付いて協力する意識を育てていく活動を行った。その中でお父さんも片付けや掃除をしていることにもふれて、男女差別なくみんなが協力するよさを感じられるようにした。
	学活	身近な情報について考える(メディアリテラシー)	目標…子どもたちがよく目にするコマーシャル・ドラマやアニメなどにかくされた男女の固定的性別役割があることに気づき、よりよく判断しながらそれらを見ることができるようになる。 キテレツ大百科のオープニングアニメの一部を見せ、女の子が料理をして座らず、男の子たちだけが食べていることについて考えた。その後、コマーシャルや宣伝のポスターには、男の人が主役、女の人が主役のものがあるか調べた。洗剤のコマーシャルは女の人が主役のものが多く、栄養ドリンクのコマーシャルは男の人が主役のものが多くあることに気づき、その理由を考えたり、感想を紹介したりした。子どもたちは、作り手の意図があることや、男女を逆にしてもおかしくないことに気付いた。そして、アニメやゲームの中の男女の固定的役割分担について考えた。最後に教員から、毎日のように見ているメディアの影響は思っている以上にあることを知り、男女で決めつけることはせず、自分の考えをもち、判断して見るように話した。 ※授業案あり
	学活	将来の生き方(男女の固定意識を超えた職業選択の自由)	目標…社会通念として「男の職業」「女の職業」と思われていたり、実際に職業の選択の自由が制限されていたりするものがあることに気づき、職業選択は自由であり、性別にとらわれることなく職業選択が行われるべきだと考えられるようにしていきたい。これまでの慣行や規制にとらわれることなく、より新しい意識を子どもたちに育てていきたい。 男の人(が多い)仕事、女の人(が多い)仕事には、どんなものがあるかを聞いた。そこで、それらの職業は、本当に男(女)の人にしかできないのかを考えた。子どもたちからは、男女どちらでも良い職業であるという意見が出された。男性の多い職業で夢を叶えて輝いている女性の様子を写真を提示して伝え、将来どんな仕事をしてみたいのかを書き、話し合った。 ※授業案あり

※「授業案あり」については、清庵支部書記局までご連絡をいただければ、授業案を送付いたします。